

**傾聴ボランティア・モモ/ボランティア養成講座**

傾聴は、「相手の話を聞き、相手の思いとともに感じる」心の触れ合いの活動です。  
 傾聴ボランティア・モモは、高齢者施設等を訪問して、利用者の話を聞き、心に寄り添う活動をしています。本講座で、共に活動する仲間を募集します。

- 日 時: ①6/9 (金)、②6/16 (金)、③6/23 (金)、④6/27 (火)  
午前10時~12時 ※全4日
- 会 場: 泉ふれあいホーム
- 定 員: 10名 ※申し込み多数の場合選考とさせていただきます。
- 対 象: 全4日出席可能な方
- 受講料: 1,000円 (資料代・保険料)
- 内 容: 座学 (傾聴の基本、技法、心構えなど)・ロールプレイ

★申込方法や期日などは、泉区社会福祉協議会ホームページをご確認いただくか、泉区ボランティアセンターまでお問合せください。



昨年度の様子

**ボランティア入門講座**

泉区ボランティアセンターでは、毎月ボランティア初心者向けに入門講座を開催しています。「ボランティアしたいけどまずは何をしたらいいの?」「自分になにができるのかわからない...」そのような方に、活動先の紹介や活動のポイントをお伝えします。これから活動を始めたいという方、ぜひご参加をお待ちしております。

- 日 時: 3/23 (木)、4/19 (水)、5/17 (水)  
午前10時~11時30分  
※1回で終了する講座です
- 会 場: 泉ふれあいホーム
- 定 員: 各回4名
- 受講料: 無料
- 申込方法: 泉区ボランティアセンターへ電話またはメールにてお申込みください。

★日時のご都合が合わない方は、ご希望の日に個別にご相談をお受けいたします。まずはお気軽に泉区ボランティアセンターまでご連絡ください。

**令和5年度「泉ふれあい助成金」「福祉の泉助成金」を実施します**

泉区社会福祉協議会では、区内の福祉活動団体の活動支援を目的に「泉ふれあい助成金」「福祉の泉助成金」を実施します。てびきや申請書は、3月頃より泉区社会福祉協議会ホームページへ掲載、窓口での配布を行います。新規で申請を検討される方は、あらかじめご相談ください。



**広報編集委員の紹介**

令和3年4月1日~令和5年3月31日

- 鈴木 裕子 (新橋地区民生委員児童委員協議会)
- 熊耳 式雄 (中川地区社会福祉協議会)
- 神野 芳子 (緑園地区社会福祉協議会)

- 船田 郁子 (新橋地区社会福祉協議会)
- 佐々木 加代子 (音声訳ボランティアいずみ)
- 三ヶ田 博之 (傾聴ボランティア・モモ)

- 深山 武志 (いちょう団地身障者クラブ)
- 嶋 宏之 (横浜市踊場地域ケアプラザ)

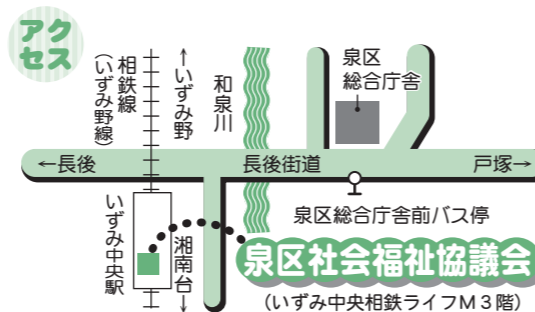


**編集後記**

現メンバーでの編集委員会も今回で最後、早いもので2年間が過ぎました。今号では泉サポートプロジェクトのことを一人でも多くの人に知ってもらえるにはどういう紙面にすればよいか、写真の配置、一番訴えたいこと、何よりも多世代からの参加をいかに募っていただけるかに焦点、検討項目を絞って活発な意見が交わされました。少子高齢化が進む中、福祉活動をいかに官民で担っていくか、「お互いに助け合い・安心して暮らせる街」づくりが地域の活性化、いつまでも住みたい街づくりにつながると思います。一人でも多くの方の参加をお待ちしています。(神野 芳子)

「区社協だより泉81号」をご覧いただきありがとうございます。  
 ご感想やご質問等がございましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

発行責任者: 社会福祉法人 横浜市泉区社会福祉協議会 〒245-0023 横浜市泉区和泉中央南5-4-13 泉ふれあいホーム内  
 TEL 045 (802) 2150 FAX 045 (804) 6042 メールアドレス: normalize@shakyo-iy.or.jp HP https://www.shakyo-iy.or.jp/



**泉区社会福祉協議会広報紙**

いずみ  
 区/社協/だ/より  
 令和5年2月発行

**泉**

No.81



この広報紙は、共同募金の配分金で作成しました。

**泉区の福祉施設や企業の地域貢献が地域の皆さんの笑顔を作る!**

地域包括ケア推進中! **泉サポートプロジェクト**



湘南ヤクルト販売株式会社による腸内年齢測定

ボランティアに介護技術を伝える施設職員

施設車両を利用した外出支援



## 泉サポートプロジェクトとは

泉サポートプロジェクト(以下「サポプロ」)は、施設や企業等が地域の皆さんと共に地域貢献活動を進めることで、誰もが安心して暮らし、助け合えるまちづくりを目指すことを理念としています。株式会社ローソンやカーブス横浜いずみ中央、湘南ヤクルト販売株式会社をはじめとする企業や特別養護老人ホームや障がい者支援事業所の施設等、現在 41 の団体が参加しています。(令和5年2月現在)



## 泉区で広がる取組のご紹介

サポプロによる取組の中から、いくつかの事例についてご紹介します。

### 買物支援・交流の場



買物する場所が近くにない地域では、野菜販売を行う障がい者支援施設やコンビニエンスストアなどによる移動販売を開催しています。買物した荷物が重くて一人で持ち帰れない高齢者には、障がいのある通所者が家まで運ぶこともしています。買物に来る皆さんの交流の場にもなっています。

### 施設の専門知識をもつ人材の派遣



施設や企業の栄養士や保健師、介護福祉士などがその専門知識を活かし、地域で開催される講座に講師として出向いています。

### 施設の敷地の開放



地域の行事や移動販売の開催場所として、施設が庭や駐車場などの敷地を地域の皆さんに開放しています。ある地域のお祭りでは、施設の中庭に植えられたミカンの木で参加者がミカン狩りを楽しんでいます。

その他にも、AEDやトイレといった設備の貸出などに取り組む事例があります

## 新橋地区高齢者食事会開催に向けた取組の紹介

新橋地区では、コロナ禍においても高齢者食事会を開催したいと考えていました。一方、新橋地区にある有料老人ホーム「SOMPO ケアラヴィーレ横浜弥生台」では、衛生管理や感染対策を施した食堂の開放等、地域貢献活動を行いたいと考えていました。そこで、新橋地域ケアプラザが地域と施設の想いをつなぎ、施設の食堂を会場に施設の栄養士が監修した食事を提供する食事会を開催しました。また、一人で会場まで行くことが困難な方には、特別養護老人ホームの「相生荘」と「横浜市新橋ホーム」が施設の送迎車を活用し送迎しました。



施設の車両を活用した送迎



池田さん(参加者)

施設の方々の私たちにに向けた気持ちが嬉しく、食事も健康に配慮されておりおいしかったです。実は施設までが遠かったので送迎をしてくれたことはありがたかったです。当日は久々に皆と会えて楽しい時間が過ごせました。



栄養士監修の色鮮やかなお食事



小池さん(主催する地域の方)

想像を超える施設の協力に嬉しさと共に驚きました。食事会が開催でき我々も嬉しかったです。久々の交流の場となり大切な見守りの場ともなっています。今後もこうした場を作っていきたいです。



広い食堂で久しぶりの仲間と交流



SOMPOケアラヴィーレ横浜弥生台 轟 ホーム長

地域の方々に是非施設に足を運んでいただき、高齢の方の外出の機会になればと開催しました。施設のことを知ってもらえ、地域と施設の垣根を低くなったように感じられ良かったです。

## 第7回よこはま地域福祉フォーラムのご案内

サポプロの取組は、横浜市社会福祉協議会が主催する「第7回よこはま地域福祉フォーラム」でも地域貢献活動に取組む施設の想いなどが紹介されています。動画配信されていますので、ご覧ください。

【配信期間：令和5年2月1日(水)～3月24日(金)】

お申込：

下記のURL または二次元コードからお申し込みください。

後日 E メールにて、受講及び資料ダウンロードに必要な URL・パスワードをお送りします。



URL : <https://www.yokohamashakyo.jp/chiiki-fukushi/chiikifukushi-f/7-2022/>

